

# 平成 26 年度事業報告書

## I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って平成 26 年度も、細胞科学分野における研究助成 10 件、国内若手研究者の育成助成として国内外への留学 5 件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘および海外派遣 7 件を実施した。

平成 27 年度の各種助成のために、それぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成 59 件、育成助成 7 件、国際交流助成 5 件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、平成 27 年度助成対象者を選出した。

また、平成 24 年度各種助成金贈呈者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

## II. 事業の内容

### 1. 平成 26 年度助成金の交付

平成 26 年度各種助成については、研究助成 10 件、育成助成 5 件および国際交流助成 7 件が平成 26 年 2 月 26 日開催の平成 25 年度第 3 回理事会において議決承認された。研究助成 10 件（1 件 300 万円、総額 3,000 万円）、育成助成 5 件（1 件 120 万円、総額 600 万円）および国際交流助成 7 件（1 件 20～50 万円、総額 319 万円）のそれぞれに助成金を交付した。

〔資料 1〕

### 2. 平成 26 年度研究助成金贈呈式開催

平成 26 年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり開催した。

開催日時：平成 26 年 6 月 14 日（土）午前 11 時 30 分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

### 3. 平成 27 年度助成事業

#### （1）各種助成の募集の細目

平成 26 年 4 月 25 日開催の企画委員会での検討を経て、平成 26 年 5 月 26 日の第 1

回理事会（書面決議）で以下のように決定した。

#### 研究助成

募集テーマ：①エピゲノムと疾患

②がんと代謝異常

応募受付期間：平成26年9月1日から平成26年9月30日まで

専門委員： テーマ① 牛島 俊和（独立行政法人国立がん研究センター研究所  
エピゲノム解析分野分野長）

辻 省次（東京大学大学院医学系研究科教授）

テーマ② 春日 雅人（独立行政法人国立国際医療研究センター総長）

宮園 浩平（東京大学大学院医学系研究科教授）

小池 和彦（東京大学大学院医学系研究科教授）

※所属・役職は就任時

#### 育成助成および国際交流助成

応募受付期間：平成26年9月1日から平成26年10月31日まで

〔資料2〕

## （2）募集

#### 研究助成

全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設160余を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計59件（テーマ①：34件、テーマ②：25件）であった。

#### 育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は7件（海外7件）であった。

#### 国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は5件（招聘3件、海外派遣2件）であった。

## （3）選考

#### 研究助成：三段階方式による選考

1. 平成26年10月16日～11月17日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として26件（テーマ①：17

件、テーマ②：9件)に絞られた。

2. 平成26年11月28日～平成27年1月9日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。
3. 平成27年1月29日：本審査（以下の通り）

#### 育成助成および国際交流助成

1. 平成26年11月28日～平成27年1月9日：選考委員による予備審査（書面）により採点。
2. 平成27年1月29日：本審査（以下の通り）

#### 平成27年1月29日：本審査

開催日時：平成27年1月29日（木）午後6時より

場 所：東京ステーションホテル（東京都千代田区丸の内1-9-1）

選考委員および専門委員により平成27年度各種助成交付対象者（研究助成10件、1件300万円総額3,000万円、育成助成6件、1件120万円総額720万円および国際交流助成5件、1件20～50万円総額201万円）が選出され、理事長に答申された。平成27年3月6日に開催された第3回理事会において、原案通り議決承認された。

なお、平成27年3月26日に育成助成1名の辞退の申し出があったため、事務局はこれを受理し理事長に答申を行い、選考委員長に報告した。

〔資料3〕

#### 4. 助成研究報告集等

平成24年度各種助成金受領者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、細胞科学研究財団助成研究報告集第25巻（2014）を平成26年10月1日に発刊し、全国の国公私立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

また、財団年報第26号（平成25年度）を平成26年8月1日に発刊し、上述の施設へ送付した。

### Ⅲ. 財団運営の概況

#### 1. 第1回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成 26 年 5 月 26 日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第 1 号議題 平成 25 年度事業報告および平成 25 年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第 2 号議題 理事および監事改選に関する件：原案通り承認可決された。

第 3 号議題 平成 27 年度各種助成募集に関する件：原案通り承認可決された。

第 4 号議題 定時評議員会開催とその目的である事項の件：原案通り承認可決された。

## 2. 定時評議員会

開催日時：平成 26 年 6 月 14 日（土）午前 11 時より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

第 1 号議題 議長選任の件：互選により名取俊二氏が評議員会議長に選任された。

第 2 号議題 議事録署名人選任の件：議長のほか互選により大谷光昭氏および近藤裕郷氏が選任された。

第 3 号議題 平成 25 年度事業報告および平成 25 年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第 4 号議題 理事および監事選任の件：原案通り承認可決された。

報告事項 平成 27 年度各種助成募集について：平成 26 年度第 1 回理事会で承認されたことを報告した。

## 3. 第 2 回理事会

開催日時：平成 26 年 6 月 14 日（土）午後 2 時 00 分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

第 1 号議題 理事長、常務理事選定の件：理事長には塩野元三理事が、常務理事には武田禮二理事が選定された。

第 2 号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。

第 3 号議題 定款変更の件：原案通り承認可決された。

第 4 号議題 臨時評議員会開催の件：原案通り決議の省略の方法により行うことが

承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は平成26年2月26日以降の業務執行状況報告を行った。

#### 4. 臨時評議員会（評議員会の決議の省略による方法）

理事長は、評議員の全員に対して評議員会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成26年10月10日までに評議員の全員から同意する旨の意思表示を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 定款改定の件：原案通り承認可決された。

#### 5. 第3回理事会

開催日時：平成27年3月6日（金）午後5時より

場 所：塩野義製薬株式会社東京支店4階（東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号）

第1号議題 平成27年度事業計画の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 平成27年度収支予算の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 平成27年度助成交付者の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 選考委員任期満了に伴う改選の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 規程及び規則制定の件：「情報公開規程」及び「費用の弁償及び報酬に関する規則」の制定について、原案通り承認可決された。

第6号議題 規程及び規則等改定の件：「助成金交付規程」「公印取扱規程」「会計処理規則」「事務処理規則」及び「役員・評議員の選任時の年齢制限についての細則」の改定について、原案通り承認可決された。

第7号議題 臨時評議員会開催の件：原案通り決議の省略の方法により行うことが承認可決された。

報告事項1 名誉理事に関する項目等を追記修正した定款改定案について、決議の省略の方法により臨時評議員会を行ない決議したこと、また内閣府へ変更届を提出したことについて報告を行なった。

報告事項2 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」及び「名誉理事規則」を改定したことについて報告を行った。

報告事項3 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は平成26年度第2回理事会以降本日までの業務執行状況報告を行った。

## 6. 臨時評議員会（評議員会の決議の省略による方法）

理事長は、評議員の全員に対して評議員会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成 27 年 3 月 23 日までに評議員の全員から同意する旨の意思表示を得て当該事項が承認可決された。

第 1 号議題 規程及び規則等改定の件：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」「会計処理規則」「事務処理規則」及び「役員・評議員の選任時の年齢制限についての細則」の改定について原案通り承認可決された。

第 2 号議題 評議員選任の件：久米龍一評議員の辞任に伴い、後任として畑中一浩氏を選任することについて原案通り承認可決された。

## 7. その他

平成 26 年 6 月 24 日 理事および監事改選による登記、金澤一郎氏の理事辞任、前田 孝氏の評議員辞任の登記を行った。

平成 26 年 6 月 24 日 内閣府に平成 25 年度事業報告書等の定期提出書類を Web 提出した。

平成 26 年 7 月 11 日 内閣府に理事および監事の改選、理事および評議員の辞任による理事等の変更届を Web 提出した。

平成 26 年 11 月 14 日 内閣府に定款の変更届を Web 提出した。

平成 27 年 3 月 25 日 内閣府に平成 27 年度事業計画および予算の定期提出書類を Web 提出した。

## IV. 添付資料

〔資料 1〕平成 26 年度各種助成金受領者名簿

〔資料 2〕平成 27 年度各種助成募集要項

〔資料 3〕平成 27 年度各種助成金受領者名簿

以上

平成 26 年度 研究助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : 自己免疫疾患 : 病態と治療

研究者	所属機関・職名	研究題目
河合 太郎 カワイ タロウ	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科分子 免疫制御研究室・准教授	自己免疫疾患発症に関わる自然免疫核酸 センサーシグナル制御機構の解明
地主 将久 ジノシ マサヒサ	北海道大学遺伝子病制御研究所・ 附属感染癌研究センター・准教授	自然免疫応答修飾を指標とした SLE の新 たな診断・治療戦略の構築
華山 力成 ハヤマ リキリ	大阪大学免疫学フロンティア研究 センター 免疫ネットワーク研究 室・特任准教授	臓器特異的自己免疫疾患の発症機構の解 明
藤尾 圭志 フジオ ケイシ	東京大学医学部附属病院 アレル ギー・リウマチ内科・講師	ヒト自己免疫疾患における新規制御性 T 細胞を含む免疫系細胞の動態と腸内細菌 叢の関連解析
堀 昌平 ホリ ショウヘイ	独立行政法人理化学研究所 統合 生命医科学研究センター 免疫恒 常性研究チーム・チームリーダー	組織における制御性 T 細胞の適応破綻に よる自己免疫疾患の発症とその制御

テーマ 2 : 加齢医学

研究者	所属機関・職名	研究題目
内藤 篤彦 ナイトウ アツヒコ	東京大学大学院医学系研究科・ 肺高血圧先進医療研究学・特任 助教	不全心で認められる DNA 一本鎖切断が心 不全発症の病態生理において果たす役割 の解明
服部 奈緒子 ハトリ ナホ	独立行政法人国立がん研究セン ター研究所 エピゲノム解析分 野・研究員	老化細胞で観察される可塑的なエピゲノ ムの意義の解明
廣田 泰 ヒロタ ヤスシ	東京大学医学部附属病院 女性 診療科・産科・研究員	老化細胞の生理的調節・除去機構とその 破綻による加齢関連疾患の病態形成に関 する研究
山口 賀章 ヤマグチ ヨシアキ	京都大学大学院薬学研究科 シ ステムバイオロジー分野・助教	加齢による時差症状亢進の分子・細胞機 構の解明とその治療薬の開発
湯浅 慎介 ユアサ シンスケ	慶應義塾大学医学部循環器内科・ 講師	110 歳超長寿者 iPS 細胞を用いた疾患抵 抗性分子機序の解明

平成 26 年度 育成助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 120 万円 5 件, 600 万円)

(国内)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
城(渡辺) 愛理 ジョウ(ワタベ)アサ	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科・病院診療 医	細胞膜型エストロゲン受容体 GPR30 の局在 と機能の解明による性差医療の基盤構築 順天堂大学大学院医学研究科 生化学第一 講座

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
大畑 慎也 オハタ シヤ	カリフォルニア大学サン フランシスコ校・博士研究 員	脳室の壁を構成する上皮細胞の細胞平面極 性獲得・維持機構の解明 カリフォルニア大学サンフランシスコ校
瀧本 晃陽 タキモ コウヨウ	東京医科歯科大学歯学部附 属病院・むし歯外来(歯髄生 物学分野)・医員	歯髄再生療法の確立による歯科保存治療の パラダイム・シフト テキサス大学サンアントニオ校ヘルスサイ エンスセンター
田中 晃司 タナカ コウジ	大阪大学大学院医学系研究 科 外科系臨床医学専攻 外科学講座消化器外科学・大 学院生	N o t c h 信号伝達系による食道癌幹細胞 の制御と分子標的薬の探索 University of Pennsylvania Perelman School of Medicine
若松 透 ワカマツ トオル	大阪府立成人病センター研 究所生物学部門・研修生	悪性腫瘍における TFE3 融合遺伝子の機能解 析 スローンケタリング記念癌センター



平成 26 年度 国際交流助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 20～50 万円 7 件, 319 万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
寒川 賢治 国立循環器病研究 センター研究所	Michaela Kuhn University of Wuerzburg	International conference on Cell- Cell Communication 2014 2014 年 9 月 10 日～9 月 12 日 京都府京都市
斎藤 泉 東京大学医科学研 究所 遺伝子解析 施設	Reiner Brentjen Memorial Sloan Kettering Cancer Center	日本遺伝子治療学会 2014 年 8 月 6 日～8 月 8 日 東京
高橋 良輔 京都大学大学院医 学研究科臨床神経 学 (神経内科)	Karl Deisseroth Howard Hughes Medical Institute, Stanford University	第 37 回日本神経科学大会 2014 年 9 月 11 日～9 月 13 日 パシフィコ横浜
湊 長博 京都大学大学院医 学研究科	Hans-Reimer Rodewald Division for Cellular Immunology, German Cancer Research Center	第 43 回日本免疫学会学術集会 2014 年 12 月 10 日～12 月 12 日 京都市 (国立京都国際会館)
宮園 浩平 東京大学大学院医 学系研究科分子病 理学分野	Daniel Rifkin New York University School of Medicine	第 18 回国際血管生物学会 (International Vascular Biology Meeting 2014) 2014 年 4 月 14 日～4 月 17 日 みやこめっせ (京都府京都市左京区岡崎 成勝寺町 9- 1)
米田 悦啓 独立行政法人医薬 基盤研究所	Mark E Flanagan Pfizer Inc.	第 87 回日本生化学会大会 2014 年 10 月 15 日～10 月 18 日 国立京都国際会館 (京都市左京区岩倉大 鷲町 422 番地)

(海外派遣)

研究者名	所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
戸田 智久 トダ トモヒサ	東京大学 医学部附属病院 神経内科	Salk Institute for Biological Studies との共同研究 2014 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日 アメリカ合衆国 サンディエゴ

# 平成27年度研究助成募集要項

## 1. 研究助成の対象となるテーマ：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。

但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。

①「エピゲノムと疾患」

②「がんと代謝異常」

## 2. 助成金額：

300万円／1件

## 採択件数：

10件以内

## 3. 応募資格：

国内の研究機関等に所属する平成26年9月1日現在満45才未満の独立した研究者（大型研究費を受けておられる方はご遠慮下さい）

## 4. 応募方法：

(1) 所定の用紙（申請書および推薦状）をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。

(2) 必ず、所属機関の長（学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等）あるいは所属部門の長（教授、部長、専攻長等）の推薦を得て下さい。

推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に限り推薦できます。

(3) 申請書に必要事項を記入し、推薦状と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。

(4) 受け付け後、直ちに申請者へe-mailにて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

## 5. 応募受付期間：

平成26年9月1日（月）より **9月30日（火）** 必着

## 6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

## 7. 報告義務：

収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。

## 8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

## 9. 採否通知および助成金の交付について：

採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。

助成金は平成27年4月以降に贈呈いたします。

## 10. 連絡先：

公益財団法人細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪府中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139

FAX：06-6202-1996

URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

# 平成27年度育成助成募集要項

1. 育成助成対象者 : 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、国内外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。
  - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者  
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
  - ロ. 平成26年9月1日現在 満35才以下の研究者  
(同一の研究において他財団との助成金の重複を認めません)
  - ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(平成27年4月以降平成28年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者(国内育成に関しては、他大学または学術研究機関での育成を受ける場合に限りませ)ニ. 留学先および留学期日の変更は認められません。改めて申請して下さい。
2. 給付金額 : 1件120万円/年  
採択件数 : 6件程度
3. 給付期間 : 1年間
4. 応募方法 :
  - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
  - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
  - (3) 受け付け後、直ちに申請者へ e-mail にて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
5. 応募受付期間 : 平成26年9月1日(月)より **10月31日(金)** 必着
6. 選考方法 : 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
7. 報告義務 : 収支報告および留学報告書を提出していただきます。
8. 情報公開について : 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。  
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
9. 採否通知および助成金の交付について : 採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。  
助成金は平成27年4月以降に贈呈いたします。
10. 連絡先 : 公益財団法人細胞科学研究財団  
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号  
TEL : 06-6202-2139  
FAX : 06-6202-1996  
URL : <http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

# 平成27年度国際交流助成募集要項

1. 国際交流助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。
  - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者  
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
  - ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者
  - ハ. 年度内(平成27年4月以降平成28年3月末までの間)に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。
2. 助成金額： 20～50万円／1件  
採択件数： 4件程度  
(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短等を勘案して決定されます。希望助成額のおおまかな内訳をご記入下さい)
3. 応募方法：
  - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
  - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
  - (3) 受け付け後、直ちに申請者へe-mailにて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
4. 応募受付期間： 平成26年9月1日(月)より **10月31日(金)** 必着
5. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
6. 報告義務： 収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。
7. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
8. 採否通知および助成金の交付について：  
採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。  
助成金は平成27年4月以降に贈呈いたします。
9. 連絡先：  
公益財団法人細胞科学研究財団  
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号  
TEL：06-6202-2139  
FAX：06-6202-1996  
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

平成 27 年度 研究助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : エピゲノムと疾患

研究者	所属機関・職名	研究題目
今吉 格 イマヨシ イタル	京都大学 白眉センター/ウ イルス研究所・特定准教授	成体脳神経幹細胞のエピゲノム光操作と 神経疾患
江幡 正悟 エハタ ショウゴ	東京大学大学院 医学系研究 科 分子病理学・特任講師	小細胞肺癌の進展における TGF- $\beta$ シグナ ルのエピジェネティック制御と機能解析
熊谷 雄太郎 クマガイ ユウタロウ	大阪大学免疫学フロンティア 研究センター・特任助教	I 型インターフェロン遺伝子発現のエピ ジェネティック制御機構：クロマチン構 造と RNA 安定性
坂田(柳元) 麻実子 サカタ(ヤギモト) マミコ	筑波大学医学医療系血液内 科・准教授	<i>TET2</i> 変異を有する前がん細胞によるリ ンパ腫の支持環境形成メカニズム
長谷 耕二 ハセ コウジ	慶應義塾大学薬学部生化学 講座・教授	免疫系のエピゲノム異常による炎症性腸 疾患発症メカニズムの解明
吉見 昭秀 ヨシミ アキヒデ	東京大学医学部附属病院 血 液・腫瘍内科・特任助教	疾患特異的 iPS 細胞を用いた白血病幹細 胞の網羅的エピジェネティクス解析を基 点にした白血病幹細胞特異的治療法の開 発

テーマ 2 : がんと代謝異常

研究者	所属機関・職名	研究題目
池ノ内 順一 イケノウチ ジュンイチ	九州大学大学院 理学研究院 生物科学部門 代謝生理学 研究室・准教授	上皮細胞の癌化過程における脂質代謝 異常の解明
小野寺 康仁 オノデラ ヤスヒト	北海道大学大学院医学研究 科 生化学講座分子生物学 分野・助教	糖代謝による受容体シグナル転換機構 の解析
中川 崇 ナカガワ タカシ	富山大学先端ライフサイエ ンス拠点・特命助教	NAD 代謝を標的とした抗がん治療のため の基盤研究
増井 憲太 マスイ ケンタ	公益財団法人東京都医学総 合研究所 病院等連携研究 センター 神経病理解析 室・主席研究員	がん代謝が悪性脳腫瘍の病態にもたら す影響についての網羅的メタボローム 解析

平成 27 年度 育成助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 120 万円 5 件, 600 万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
塩野 雅俊 シノ マサシ	塩野胃腸科 内科・副院長	がん悪液質の治療法開発を目指した標的因子の探索 Columbia University, Institute for Cancer Genetics
島 隆宏 シマ タカヒロ	九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学・医員	白血病幹細胞成立に伴う白血病融合遺伝子発現上昇メカニズムの解明 Moores UCSD Cancer Center, University of California San Diego
田端 桂介 タハタ ケイスケ	大阪大学微生物病研究所 ウイルス研究グループ・特任助教	フラビウイルスの宿主細胞内増殖機構の解明 Department for Infectious Diseases, Molecular Virology, University of Heidelberg
垂井 愛 タライ メグミ	東京大学医学部附属病院 呼吸器内科・特任臨床医	気道における small leucine-rich proteoglycans (SLRP) の役割の解明 University College London, UCL Institute of Ophthalmology
平木 将之 ヒラキ マサユキ	大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科学・大学院生	ムチン分子(MUC)阻害剤を用いた KRAS 変異型固形癌に対する治療戦略 Dana Farber Cancer Institute (Harvard University Medical School)

平成 27 年度 国際交流助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 20～50 万円 5 件, 201 万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
稲澤 譲治 東京医科歯科大学 難治疾患研究所	Olli-Pekka Kallioniemi Institute for Molecular Medicine Finland (FIMM)	第 34 回 札幌国際がんシンポジウム 2015 年 6 月 25 日～27 日 北海道札幌市
山崎 浩史 昭和薬科大学 薬 物動態学研究室	Eric F Johnson The Scripps Research Institute	第 19 回シトクロム P450 国際学会 2015 年 6 月 12 日～15 日 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合セン ター(東京)
柚崎 通介 慶應義塾大学医学 部 生理学教室	Carla J. Shatz Stanford University	第 38 回日本神経科学大会 2015 年 7 月 28 日(火)～31 日(金) 神戸国際会議場・神戸国際展示場 (兵庫 県神戸市)

(海外派遣)

研究者名	所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
稲田 明理 イダ アカ	九州大学大学院医学研究院 先端医療医学糖尿病遺伝子 分野	第 75 回米国糖尿病学会議 75th Scientific Sessions American Diabetes Assosiation 2015 年 6 月 4 日～6 月 13 日 ハーバード大学ジョスリン糖尿病センター アメリカ合衆国 マサチューセッツ州ボ ストン市
風間 逸郎 カザマ イツロ	東北大学大学院医学系研究 科 細胞生理学分野	American Society of Nephrology Kidney Week 2015 (2015 年度アメリカ腎臓学会) 2015 年 11 月 3 日～2015 年 11 月 8 日 San Diego (米国、カリフォルニア州)

前記のとおりご報告いたします。

平成 27 年 6 月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩 野 元 三